

平成28年度学校教育自己診断結果【教員】

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

No.	質 問 項 目	A	B	C	D	肯定的
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	28.6%	52.4%	19.0%	0.0%	81.0%
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	14.3%	57.1%	23.8%	0.0%	71.4%
3	学校の教育活動には、生徒や保護者のニーズに合った特色があり、生徒は学校生活を楽しんでいる。	19.0%	57.1%	14.3%	9.5%	76.2%
4	学校は、教育活動全般について、保護者の願いによく応えている。	4.8%	61.9%	28.6%	0.0%	66.7%
5	各教科において、教材の精選・工夫を行っている。	14.3%	61.9%	19.0%	0.0%	76.2%
6	学習意欲の高い生徒や低い生徒に対する学習指導を、個に応じた視点で工夫して行っている。	57.1%	33.3%	9.5%	0.0%	90.5%
7	生徒の実態をふまえ、参加体験型の学習やグループ学習を行うなど、指導方法の工夫・改善を行っている。	38.1%	38.1%	19.0%	0.0%	76.2%
8	評価の在り方について話し合う機会がある。	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	42.9%
9	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	19.0%	42.9%	28.6%	9.5%	61.9%
10	生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	19.0%	61.9%	19.0%	0.0%	81.0%
11	生徒指導の方針について、教職員間で十分コンセンサスがとれている。	14.3%	52.4%	28.6%	4.8%	66.7%
12	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	19.0%	38.1%	33.3%	9.5%	57.1%
13	生徒指導において、家庭や警察・少年サポートセンター・子ども家庭センター等の関係諸機関との連携ができている。	9.5%	47.6%	23.8%	4.8%	57.1%
14	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。	19.0%	33.3%	33.3%	9.5%	52.4%
15	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	19.0%	38.1%	33.3%	4.8%	57.1%
16	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	14.3%	61.9%	19.0%	0.0%	76.2%
17	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	23.8%	47.6%	19.0%	9.5%	71.4%
18	学校として、部活動を活性化させる体制をとっている。	4.8%	47.6%	33.3%	9.5%	52.4%
19	教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	9.5%	61.9%	23.8%	4.8%	71.4%
20	教育活動において、体験学習やボランティア活動が活発に行われている。	4.8%	28.6%	47.6%	19.0%	33.3%
21	人権尊重の教育において、参加体験型の学習内容・方法を取り入れるなど感性を高める指導を行っている。	4.8%	38.1%	42.9%	9.5%	42.9%
22	障がい者理解を深め、ノーマライゼーションの理念に基づく社会を築く資質を養うことができるよう工夫している。	9.5%	28.6%	47.6%	14.3%	38.1%
23	固定的な性別役割分担意識を是正し、男女共生意識に基づく社会を築く資質を養うことができるよう工夫している。	4.8%	38.1%	42.9%	14.3%	42.9%
24	体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。	28.6%	57.1%	4.8%	4.8%	85.7%
25	校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	19.0%	57.1%	19.0%	4.8%	76.2%
26	校長は的確な指導・助言を行っている。	23.8%	57.1%	14.3%	4.8%	81.0%
27	学校運営に教職員の意見が反映されている。	14.3%	52.4%	19.0%	14.3%	66.7%
28	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	19.0%	33.3%	28.6%	19.0%	52.4%
29	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	4.8%	42.9%	33.3%	14.3%	47.6%
30	職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。	4.8%	42.9%	33.3%	19.0%	47.6%
31	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	9.5%	66.7%	9.5%	14.3%	76.2%
32	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができている。	28.6%	38.1%	14.3%	19.0%	66.7%
33	教職員の服務規律への自覚が高い。	14.3%	57.1%	23.8%	4.8%	71.4%
34	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	19.0%	52.4%	28.6%	0.0%	71.4%
35	教育活動に必要な施設・設備・教材教具は、整っている。	4.8%	38.1%	33.3%	23.8%	42.9%
36	コンピュータ等のICT機器が、授業などで活用されている。	14.3%	52.4%	23.8%	9.5%	66.7%
37	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施され、教育実践に役立つ内容となっている。	14.3%	52.4%	23.8%	9.5%	66.7%
38	研修や研究に十分取り組める体制が整っている。	4.8%	47.6%	28.6%	19.0%	52.4%
39	指導要録の記入、点検が年度内に適正に行われている。	19.0%	57.1%	14.3%	4.8%	76.2%
40	生徒の個人情報に関する文書管理、プライバシーの保護や事務処理などは、的確に行われている。	28.6%	61.9%	9.5%	0.0%	90.5%
41	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	19.0%	47.6%	14.3%	14.3%	66.7%
42	学校は、教育活動全般について、地域の意見を大切にしている。	14.3%	38.1%	38.1%	4.8%	52.4%
43	教職員はP T A活動（後援会活動）に参加している。	28.6%	47.6%	23.8%	0.0%	76.2%